

2014 年度部会活動を振り返って

2014 年度の部会活動は 11 月 11 日の例会をもって今シリーズも活発裡に終了となりました。

今年度は第 1, 2 回を松岡匠さんが、第 5, 6 回では岡元孝一さんが夫々に 200 点 UP をマークしての二連勝に輝やくという見せ場のあるゲーム展開が繰り広げられた充実したシリーズとなりました。

さて、競技規定にも明記してあるように、年間 6 回開催している例会での成績（11 項目設定）をトータルし、その総合成績にもとづき、次年度第 1 回目の例会後の新年懇親会で表彰しています。

よって“部会活動の始まりは、先ずは参加することにあり”をモットーとしているため、年に一度も参加できない方には参加可能となった時点での入部をお願いし、いつでも入部を歓迎してきています。

◎そんな訳で、今年度の参加率は全体では 80.0% となり、昨年度の 68.8% を大幅に上回りました。

例会日	参加人数	部員数	参加率
第 1 回 (1/21)	20 名	25 名	80.0%
第 2 回 (3/11)	20 名	25 名	80.0%
第 3 回 (5/13)	22 名	26 名	84.6%
第 4 回 (7/8)	22 名	26 名	84.6%
第 5 回 (9/9)	19 名	26 名	73.1%
第 6 回 (11/11)	21 名	27 名	77.8%
計	124 名	155 名	80.0%

◎また、参加回数別構成では

6 回（皆勤賞）—16 名 5 回—3 名 4 回—2 名 3 回—2 名 2 回—3 名 1 回—1 名（11 月入部者）となっていますが、中でも皆勤賞獲得者が昨年度の 12 名を大幅に上回ったのもうれしい現象です。

さらには、来年度こそは全員参加でのプレーが実現出来る日が来ればいいなと願っています。

今回別紙添付書類として「2015 年度競技及び表彰規定」を掲載しました。ボウリングブームだった昭和 40 年代に青春を謳歌された皆様なら、一度は経験されたこのスポーツの楽しさを仲間達と再び味わってみませんか！ 《入部ご希望の方は OB・OG 会事務局へお申し込みください》

それではお待ち兼ねのリレートーク 5 番手は萬羽さんの登場です。いつも豪快な投げっぷりで岡元さんとのワンツーフィニッシュを何度となく展開し例会を盛り上げてくれていて、かつては往年の女子プロボウラー・須田開代子、中山律子、並木恵美子達ビッグスリーに憧れたお一人でもあったようです。

ボウリング部会に入って

リレートーク⑤ 萬羽 進

ボウリング部会への入会のキッカケは平成 20 年の正月に“ボウリングは健康と腰痛防止になるよ”と幹事の杉山さんに誘われて入会することになりました。（当時小生は長年の腰痛が持病でした）

入会時のボウリングについての知識と云えるものは、スコアの点け方と単にピンに向かってボールをスローするくらいしかありませんでした。と云うのも昭和 40 年代は女子ボウリング全盛期で女子ボウラー・須田、中山、並木さん等の選手のプレーをテレビで観る程度の感覚しかありませんでした。

ボウリング部会に参加し、プレーをしてみると多くのボウリングの基礎知識に欠けていること、また自分の我流のボウリングではなかなかスコアを上げることが出来ないこと等がよく解りました。

年齢的にも体力が減退してきた小生にはボールは重く身体は硬直してきて、思った処にボールをリリース出来ないこともよく解りました。上級者の方々のフォーム、スロー、タイミング等から学んで自分のものにして、少しでも成績が上がるよう努力したいと思っています。

ボウリングのすばらしいのは、個人プレーでありながらプレーヤーのナイスプレーには同伴競技者が全員で率直に喜び祝福し、一方不運なプレーには一緒になって悔しがる等競技者が全員で喜怒哀楽を共有するスポーツは他にはないと思います。

このように男女や年齢に関係なく楽しめるボウリング活動に継続して参加出来るよう、健康な身体を保っていきたいと思っています。

最後になりますが、森田部会長、杉山幹事他ボウリング部会の方々へ「小生を仲間に加えてくれて本当にありがとう！」と感謝しています。

※2015 年度第 1 回は 1 月 20 日（第 3 火）に開催。例会後新年懇親会を兼ね前年度の表彰会を行ないます。

以 上

平成 26 年 11 月 14 日

杉 山 光 司 記

2014 年度第 6 回 (11 月 11 日)
 関東大和ハウスOB・OG会 ボウリング部会 例会成績表

順位	会員名	3 G スコア	アベレ ージ	HC × 3	トータ ル	ハイゲ ーム	ストラ イク	ス ペ ア	ガ タ ー	次回HC (1 G)
1 位	岡元 孝一	495	165.0	12	507	188	9	13	0	15
2 位	杉山 光司	442	147.3	※18	460	163	7	10	0	※10
3 位	中村 信之	412	137.3	45	457	151	4	13	1	15
4 位	川村 由江	352	117.3	105	457	118	5	8	2	35
5 位	石川 哲彌	419	146.3	※30	449	156	5	14	0	※10
6 位	高橋 充	404	134.7	45	449	142	1	15	0	15
7 位	萬羽 進	410	138.0	30	444	160	7	9	0	20
8 位	坂本 洋子	337	112.3	105	442	115	2	8	1	35
9 位	的場 幸枝	359	119.7	81	440	129	3	10	0	30
10 位	手塚 敏文	409	136.3	21	430	147	7	9	0	15
11 位	中釜 公憲	376	125.3	45	421	132	5	10	1	15
12 位	仲西 徹	363	121.0	45	408	138	2	13	0	15
13 位	小川 和之	359	119.7	45	404	137	2	10	1	15
14 位	宮川さと子	298	99.3	90	388	107	1	4	2	30
15 位	松岡 匠	394	131.3	※▲9	385	151	4	11	0	※5
16 位	飛弾野真由美	287	95.7	90	377	112	2	4	3	25
17 位	勝俣 佳忠	312	104.0	60	372	109	5	3	0	20
18 位	横山 紀子	261	87.0	105	366	110	2	3	5	35
19 位	大網 公雄	329	109.7	30	359	128	2	9	1	10
20 位	栗田 直人	309	103.0	30	339	113	4	5	5	10
21 位	三根 忠彦	292	97.3	45	337	110	1	8	2	15

※ HC 欄で※印はマイボール・ハンディキャップ 10×3 を差し引き済み 但し次回 HC 欄は 1G 分の 10 を差し引き済み

※ 競技規定により、次回は 2015 年度第 1 回となるため、HC は初期 (年齢別) HC を適用する



2014 年度最終戦・今日も頑張るぞ!

2014.11.11

2015 年度 競技及び表彰規定

関東大和ハウス OB・OG 会ボウリング部会

期 間	2015 年 1 月～11 月（年 6 回奇数月の第 2 または他の火曜日に開催する） 本年度は①1 月 20 日 ②3 月 10 日 ③5 月 12 日 ④7 月 14 日 ⑤9 月 8 日 ⑥11 月 10 日
時 間	午後 2 時スタート（集合時間は 15 分前）※例会場の予約状況により変更する場合がある
会 場	品川プリンスホテルボウリングセンター（または近隣のボウリング場） 東京都港区高輪 4-10-30（アネックスタワー 1 階） 電話 03-3440-1116
費 用	ゲーム代はサービスチケット適用料金 1,800 円を各自負担とする 会費として毎回参加時に 500 円を徴収し、表彰規定に定める各賞の賞金及び事務諸経費に充てるが、会費の清算は単年度方式にて行なう（但し、状況により臨時会費を徴収することがある） なお、参加回数に拘わらずボウリング場スタッフへの新年(1 月)と中元(7 月)の贈答品代として年間 500 円を原則として 1 月回（不参加者は順次参加時）に徴収する
競技方法	1) アメリカン方式（2 レーン交互投球）で 4 ゲームプレーし、うち上位スコア 3 ゲームを記録スコアとして集計する。但し体調により 3 ゲームプレーでの集計も可とする 2) HC は当面の間、別表「ハンデキャップの決め方」により男女性別と年齢により決定する 1～3 位入賞者に対しては HC の 3 割、2 割、1 割(四捨五入)をさらにカットし、次回ゲームに反映させる 但し、カットした HC は年度ごとに振り戻し、次年度初回からは従来の性別、年齢別による HC にてプレーする なおマイボール使用者は 1 ゲームにつき HC10 をカットする 3) 同スコアの場合は HC の少ない方を、さらに同スコアの場合は高年齢順で上位とする
表彰規定	下記の各賞を設けるが表彰は年度毎に集計し、翌年度第 1 回（1 月）の例会後に懇親会を開催し、その場において発表・授与する 1) 参 加 賞 参加(親戦を含む)し、会費を納めた回数に応じて付与する 2) 皆 勤 賞 年度全 6 回参加者に付与する 3) 順 位 賞 各回の第 1～5 位に付与する 4) ハイアベレージ賞 スクラッチの部と HC 込みの部各々上位 5 名に付与する 5) ハイシリーズ賞 スクラッチの部と HC 込みの部各々上位 5 名に付与する 6) ハイスコア賞 年間で上位 5 名に付与する 7) アベレージアップ賞 アベレージが前年より上回った者に付与する 8) ストライク賞 年間でストライクを出した数を合計し上位 5 名に付与する 9) ス ペ ア 賞 年間でスペアを出した数を合計し上位 5 名に付与する 10) ガ タ ー 賞 年間でガターを出した数を合計し上位 3 名に付与する 11) 200UP 賞 男子は 1 ゲームにつき 200 点以上、女子は 180 点以上のスコアを出した時、各ゲームに対して付与する *上記の表彰項目をポイント計算により賞金金額に換算されるが、年度によって会費の積立金額が異なるため、配分金額が異なることや表彰対象人数が増減することを予めご了承ください
そ の 他	休部扱い 一年間に一度も例会に参加されなかった場合は次年度以降休部扱いとする

以 上

改定日 平成 27 年 1 月 20 日（初回制定平成 22 年 1 月 19 日）

※赤色文字は今回改定および修正、加筆をした箇所です